



福島中だより

11月号

H27.11.2発行
文責：校長

先日の学習発表会では、保護者をはじめたくさんの方々においでいただきありがとうございました。ご覧になられた通り、子どもたちは合唱に劇に発表にと素晴らしい取組を見せてくれました。体育大会でもそうでしたが、福島中の生徒のよさが存分に発揮された一日だったのではないかと思います。さて、2学期も後半に入ります。これまでは、行事に向かって集団の和を深めていくという、言わば団体戦という場面が多かったのですが、ここからは、しっかり自分を見つめ直し、学習面でも生活面でも自分を高めていく努力を一人一人が行っていくことが求められます。個人戦と行うことができるかもしれませんが。特に3年生は、自分の進路を決める大切な時期に入ります。目標も無く、なんとなく過ごしていることで、生徒指導上の問題や人間関係のトラブルが起きやすい時期でもあります。この大切な時期、教師として、保護者として、子どもたちをしっかりと見守り、導いていきたいものです。今回は、子育ての在り方について書かれた文章を1つ紹介します。子どもを伸ばし、将来の幸せを考える上で一つのヒントになれば幸いです。

■□ より良いものを教えてあげる（浜尾 実 氏の著書から） □■

子どもを叱るときに忘れてはならないのは、私たちは一つ足りないということです。「いけない」というのと同時に、それならば、より良いものを教えてあげる、ということをしていないのではないかと思うのです。（中略）

私たち大人がほんとうにすばらしい小説を読んだ時、映画を見た時、それよりも以下の本とか映画は見たくなくなります。別に痩せがまんをして見ないというのではなくもっといいものを知っているからです。それと同じように、子どもにも第一級のものを与えてあげてほしい。質として第一級ものというのは、ぜいたくなものという意味ではありません。ほんとうに、いいものです。子どもは知らないから、マンガばかりを読み、くだらない本を読んでいるのでしょうか。もっとすばらしい伝記、ものすごく面白い童話、小説、そういうものを教えてあげましょう。その時こんな素晴らしいものがあったのかと思ったら、今まで夢中になっていたものには、全然興味はなくなってしまう。

ですから、いけないいけない、と言っているのではなく、より良いものを与えてあげるのである。その時には、子どもは黙っていてもそっちに行くのです。どうも私たちは、いいものを与えるということにあまり神経を使わないようです。美術館に連れて行ってあげる。音楽会に連れて行ってあげる。あるいは、いいレコードを聞かせてあげる。それで、すばらしい音楽とか、絵画、彫刻とかいうものを子どもが味わったら、それ以下のものには全然興味を持たなくなります。

私たち自身がそういうものにたくさん触れて心に栄養を与えておく、と同時に子どもにも、そういうものを与えるということが、大切なことだと思います。

そこで、親として大切なことは何かと言えば、子どもに、より良いものを教えてあげることです。これは学校の先生がしてくださるだろうというだけでは、いけないのです。やはり、家庭で、お父さんやお母さんが、そういう風にしてあ

げるといことは、実に大切なことなのです。

（中略）日頃から、親として私たちが一番心配なのは、わが子が非行化してしまうのではないか、不良少女になってしまわないか、ということでしょう。どういう子どもがそうなるのか、いろいろなケースがあると思います。が、私は夢中になれるものを何か持っているということが、非行化しない子どもには一番大事だと思います。それは、勉強でも、もちろんいいのです。絵を描くことがとても好きだとか、音楽がとても好きだとかといった、これさえしていればこの子は何を言っても聞こえないのだというくらい夢中になれることが欲しいと思います。親が押し付けるのではなく、子どもは一人一人性格が違いますから、その子どもの性質に合った、一番好きなものを、親も一緒になって考えてあげ、発見することができれば、非行化は避けられるでしょう。

よく世間でいわれるように、一流の大学に行って、一流の大企業に入ることが人間の幸せにつながるのではないのです。ある子どもにとっては高校卒でいい場合があり、中学卒でいい場合もあるのです。あるいは、働くということが、その子にとっては一番の生きがいであるかもしれません。（中略）ある子どもにとっては、大学に行くことの方が、むしろ苦痛で、その子どものいいものを全部削ってしまう、駄目にしてしまうという場合もあるかもしれません。働くこと、何か作ることの方、その子に向いている場合には、別に学歴というものがないかとしてもいいのです。その子にとっても、親にとっても、一番の幸せのはずです。

ですから、外見の見栄とか虚栄心とかいうものは捨てて、その子にとって一番いい道はどういう道か、ということを考えてあげるのが、私たち親の義務だと思います。

『子どものほめ方・叱り方 伸びる子どもが育つ44のヒント 浜尾実 著』より抜粋

* 浜尾実氏(1925-2006)は元東宮侍従、教育評論家、皇室解説者。子育てやしつけに関する多数の著書がある。

新生徒会執行部が始動！

生徒会長	武内 歩理さん (2年)
副会長	内山田 優太くん (2年)
副会長	中山美久理さん (2年)
書記	武田 大輝くん (2年)
	中島 左京くん (1年)
会計	松山 さくらさん (1年)

* よろしくお願ひします！

11月の主な行事

4日 (水)	県社会科テスト
11日 (水)	県英語テスト
11～13日 (水～金)	職場体験学習 (2年)
14日 (土)	数学検定 (希望者)
17日 (火)	第3回参観日 (3年：推薦入試説明会)
24日 (火)	第1回弁当の日
26・27日 (木・金)	2学期末テスト